



妻に、
私は男使である。
苦勞の末に榮お来る。
沖縄の住民たちは、
私たちの隣である。
私たちがは共同体である。
これは私の思いつくことである。
愛する。

2015 9 28 東元

⑥支援に感謝する（左から）金東元さん、エミリー・ワンさん
夫妻は3日、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前
⑤金東元さんが妻エミリー・ワンさんに宛てた日本語の手紙

罰金の韓国男性 妻へ片言の手紙

勾留時日本語に制限

名護市辺野古の新基地建設への抗議行動で逮捕され、罰金刑を受けた韓国人の金東元さん(29)が3日、米軍キャンプ・シュワブゲート前を訪れ、参加者の支援に感謝した。

警察官を蹴った公務執行妨害罪に問われたが、妊娠中の妻エミリー・ワンさん(29)をかばったと説明している。勾留中は外部とのやりとりが日本語に制限されたため、差し入れの辞書を頼りに「愛する」「沖縄の住

民たちは、私たちの隣(仲間)である」と手紙を書いた。

夫妻はこの日、ゲート前で「子どもが生まれたらこの場に一緒に座りたい」「事件を通じてイチヤリバチヨードーという言葉の意味を知った」と話し、拍手を浴びた。その後、予定より10日遅く帰国の途に就いた。

抗議行動には最大で約140人が参加。長島沖では沖縄防衛局がフロートとオイルフェンスを設置した。市民のカヌー約20隻と船3隻が抗議し、うちカヌーの5人と船1隻が海上保安官に一時拘束された。

